



「働く」現場で学んでみたら

～前期体験学習報告

割烹ひさご様



一年生四名の生徒が、割烹ひさご様に前期の体験学習を行いました。十一回の学習を通して、食事会場づくりや食器類のセッティング、調理実習を体験しました。

回数を重ねるごとに作業にも慣れていき、自分から質問をしたりコツを聞いたりする姿がありました。調理のコツを聞いて、もう一度自宅で唐揚げやチャーハンづくりに挑戦したという生徒もあり、調理技術だけではなく「自ら行動するマインドセット」を習得する第一歩となりました。



タイラフラワー様



一年生四名の生徒がタイラフラワー様で体験学習を行いました。

花や葉を傷めないように扱うこと、お客様が気持ちよく購入できるようにきれいにラッピングすることなどを教えて頂きました。活動内容は、余分な葉っぱの切り落とし、花のラッピング、掃除などです。

最初は、上手くラッピングが出来ず、焦りや不安がありました。回数を重ね慣れ、てくとスムーズに作業が進みました。上手くラッピングができるようになって、従業員の方から褒められ、その言葉が自信に繋がったようです。また、自分から質問をしたり確認を求めたりと主体的に取り組む姿勢も見られました。

観光農園
葉隠工房様

一年生男子四名の生徒が観光農園葉隠工房様で体験学習を行いました。

仕事内容としては、①イチゴハウスの片づけと②イチゴ苗の定植が主でした。

指導していただく池田さんはとても気さくな方で、いろいろな話題についてお話ができました。

黙々と作業に取り組まれる池田さんの影響もあり、生徒四人も懸命に自分の仕事に取り組みました。声掛けもよくしてくださり、毎週金曜日の三時間の体験学習で多くのことを学びました。

がんに関する
講話

より豊かな日々を

歯科講話



十月十一日(金)、がんに関する講話として動画を視聴しました。

がん専門医である佐賀大学の医師と、がん経験者の方による講話で構成された動画はクイズ等も交えた具体的で分かりやすい内容でした。「がんに対する不安」を講話の前後で数値化したアンケートでは、半数近くの生徒の数値が講話後に上昇しているのが印象的でした。おそらく、具体的な話を聞いた経験が少ないうちに専門的な話を聞き、がんに意識が向いたことが不安として現れたものと考えられます。

講話をきっかけに自分ごととしてとらえ、体調や生活習慣に留意するようになれば、今回の講話の意義は十分にあったといえるのではないのでしょうか。



十月十八日(金)、とがし歯科医院の桑原先生と衛生士の山下さんと上戸さんを講師にお迎えして、一年生を対象にした歯科講話を実施しました。

歯は、噛むこと以外にも発音や姿勢などにも大切であることやむし歯になりやすい甘いものも上手に摂りながら予防できることなどのお話がありました。また、衛生士の方からは、汚れを落とすための効果的な歯の磨き方をご指導いただきました。

今回、口腔疾患の予防に関する知識や正しい歯の磨き方を学び、生涯において歯をはじめとした健康づくりにつなげてもらえればと思います。